

ふるさと21ドクターズのきっかけ



有機JAS農産物を扱う「ふるさと21」の存在を知る。

- ふるさと21との出会いは、
**福田さんの有機リンゴを
食べて感動したこと。
最初は顧客として。**



その後、有機農法家を支えるクラウドファンディングを行っている
ふるさと21の森社長をネットで知り、「一緒に仕事しませんか?」
とメールをお送りした。

ところが、有機農業もピンチ！



そして日本の有機農業の現実を知る。

- 有機農産物の生産量はたったの0.5%
そうでない農産物が主流なのは異常。
⇒農薬を使った壮大な人体実験中！？

- 有機農業は「不可能」ではない
 - ・江戸時代以前に農薬はなかった。
 - ・現代でも実践している人はいる

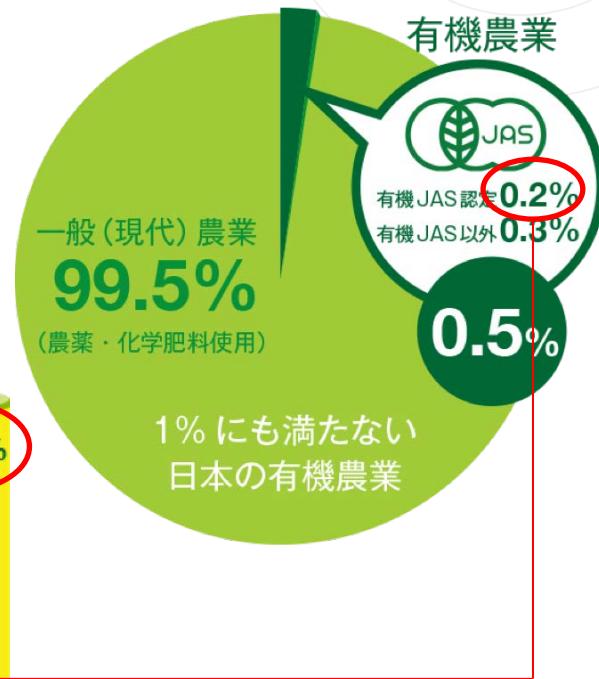
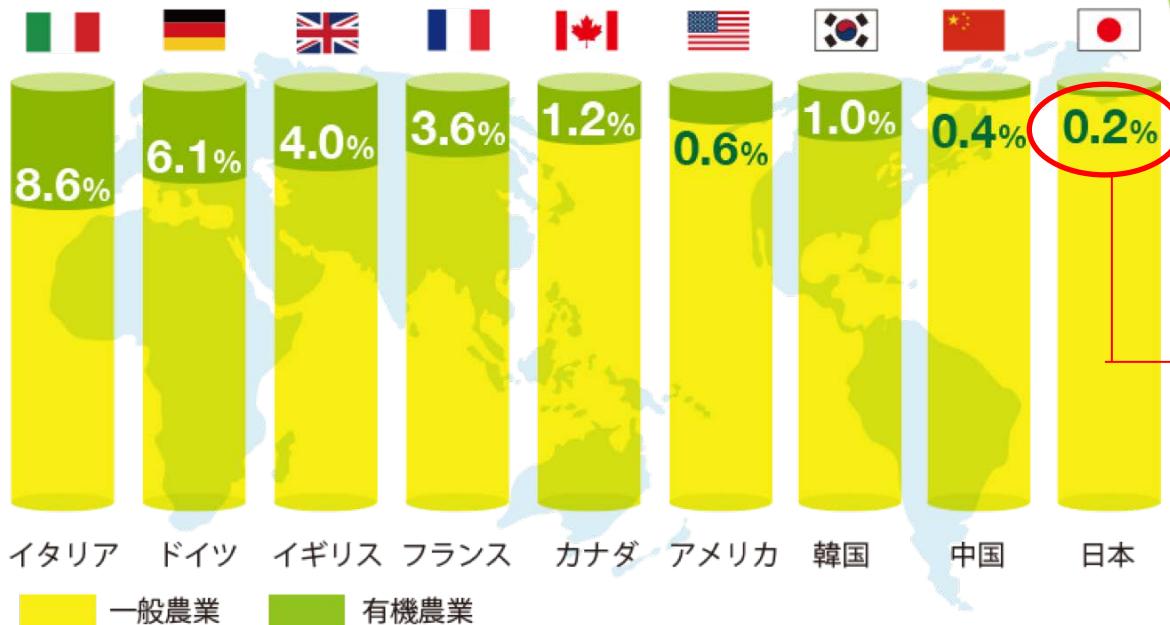
- やらないのは、労力と経済の問題

有機農業の実態



日本の有機農業は世界に比べて瀕死の状態。アジアの中でも中国や韓国からも遅れている。

■各国の国際基準のオーガニック認定比率(農林水産省)



0.2%という消えそうな数字

時間がない、という現実



日本の有機農業が消えてしまう可能がある。

- 優れた農産物を育てる生産者も少数存在するが、**高齢化が進んでいる。**



- 速く**後継者**を育てなければ、**技術が継承されない**



- 有機農業の後継者を育てるには、**経済的な土台が必要**

(生活が成り立たないと、人生を賭けられない)



希少な有機JASリンゴを栽培する福田さんは80歳を超えたが、後継者がいない。

結局のところ(課題解決には)

日本の有機農業を継承し、拡大するためには。



- るべき農業が普及するには

良い食材を積極的に選ぶ**消費者が
増えることにつきる**



- 買ってもらえるなら、生産者は作れる。



- 解決策は、
**「良い農産物を求める
消費者を増やすこと」**



患者さんのみならず、子どもの健康を考えると有機農産物が好ましい。

全体の構想



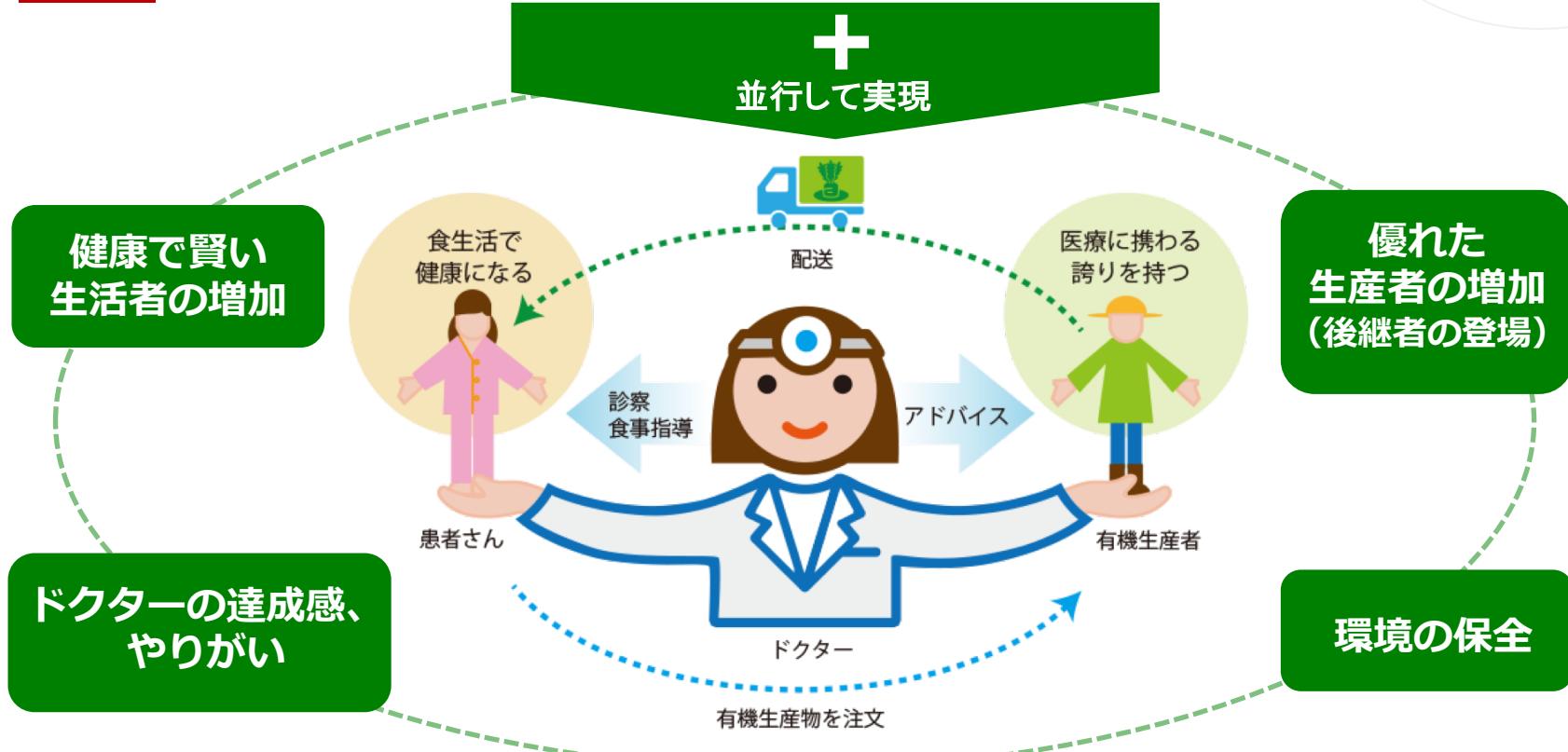
ドクターが患者さんに勧めることで、もたらす変化。

患者

優れた食材で健康を回復

+

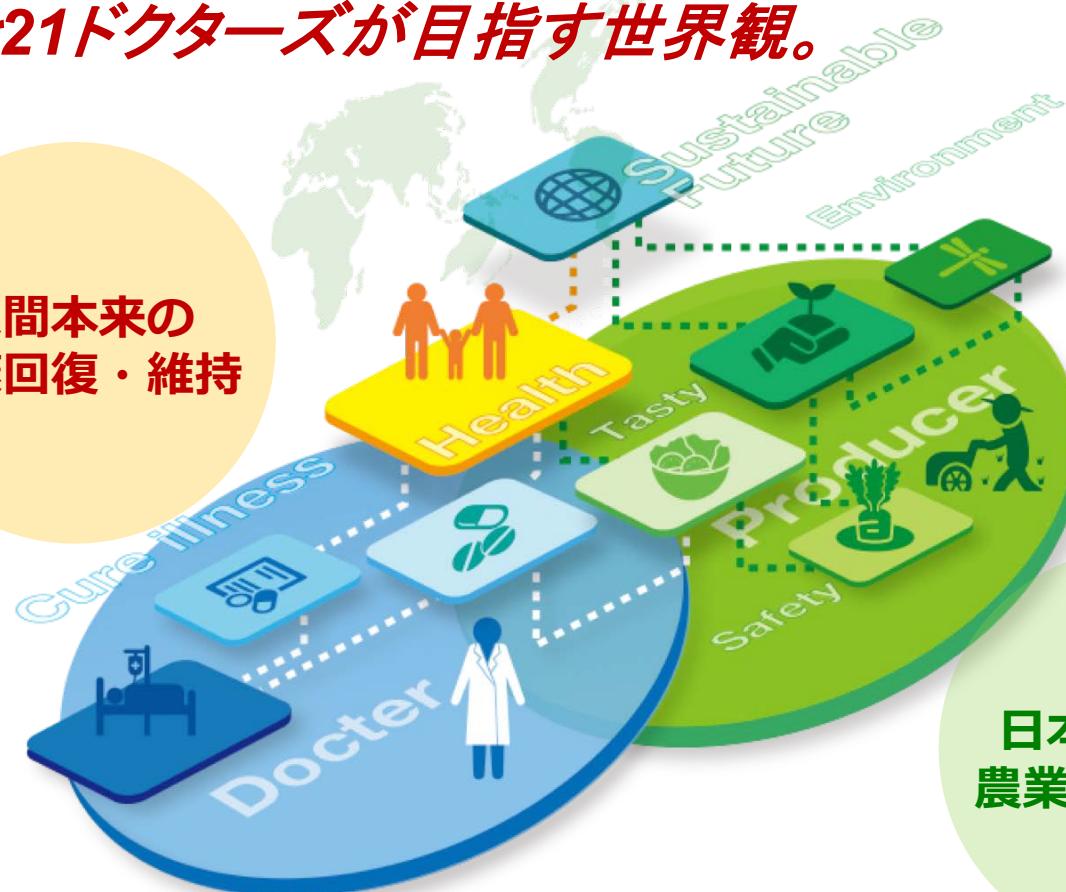
並行して実現



ドクターと農家がつながることで、医療の未来も創る。農業の未来も創る。

全体の構想

ふるさと21ドクターズが目指す世界観。



生態系・
自然環境保全



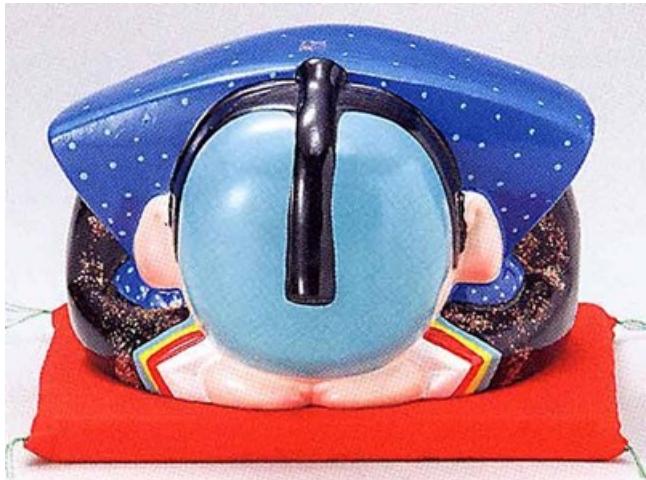
「医療の未来」と「農業の未来」に貢献したい。

是非、お力添えをお願いします



健康を回復する患者を増やし、
やりがいを持って働くドクターを増やし
優れた農業を後世に伝える

そのために、
ふるさと 21 ドクターズをスタートしました。
是非、お力添えください。



株式会社ヘルシーパス
代表取締役社長
田村 忠司
静岡県静岡市葵区栄町2-10 1192ビル
無料通話:0120-797-464(平日9時~18時)
E-mail: info@healthy-pass.co.jp
URL : <https://www.healthy-pass.co.jp/>